

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成24年6月7日(2012.6.7)

【公表番号】特表2008-533281(P2008-533281A)

【公表日】平成20年8月21日(2008.8.21)

【年通号数】公開・登録公報2008-033

【出願番号】特願2008-501929(P2008-501929)

【国際特許分類】

C 0 8 L 101/04 (2006.01)

C 0 8 K 5/37 (2006.01)

C 0 8 K 5/19 (2006.01)

C 0 8 K 3/22 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 101/04

C 0 8 K 5/37

C 0 8 K 5/19

C 0 8 K 3/22

【誤訳訂正書】

【提出日】平成24年4月17日(2012.4.17)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

2-メルカプト-1, 3, 4-チアジアゾール-5-チオベンゾアート、
無機塩基、および、

1-オクチルピリジニウムクロリド、1-オクチルピリジニウムブロミド、1-ブチル
-3-メチルイミダゾリニウムクロリド、1-ヘキシル-3-メチルイミダゾリニウムク
ロリド、および、1-ヘキシル-2, 3-ジメチルイミダゾリニウムクロリドからなる群
より選択される四級アンモニウム塩、
を含む、硬化システム組成物。

【請求項2】

塩素化エラストマー、

2-メルカプト-1, 3, 4-チアジアゾール-5-チオベンゾアート、
無機塩基、および、

1-オクチルピリジニウムクロリド、1-オクチルピリジニウムブロミド、1-ブチル
-3-メチルイミダゾリニウムクロリド、1-ヘキシル-3-メチルイミダゾリニウムク
ロリド、および、1-ヘキシル-2, 3-ジメチルイミダゾリニウムクロリドからなる群
より選択される四級アンモニウム塩、
を含む、硬化性塩素化エラストマー組成物。

【請求項3】

前記塩素化エラストマーが、ポリクロロブレン、ポリエピクロロヒドリン、エピクロロ
ヒドリン／酸化エチレンコポリマー、クロロスルホン化ポリエチレン、塩素化ポリエチレ
ンおよび塩素化ブチルゴムからなる群より選択される、請求項2に記載の硬化性塩素化エ
ラストマー組成物。

【請求項4】

前記塩素化エラストマーが塩素化ポリエチレンである、請求項3に記載の硬化性塩素化エラストマー組成物。

【請求項5】

硬化組成物から成形された1つ以上の部品を含む物品であって、前記硬化組成物が、
塩素化エラストマー、
2-メルカプト-1, 3, 4-チアジアゾール-5-チオベンゾアート、
無機塩基、および、
1-オクチルピリジニウムクロリド、1-オクチルピリジニウムブロミド、1-ブチル-3-メチルイミダゾリニウムクロリド、1-ヘキシル-3-メチルイミダゾリニウムクロリド、および、1-ヘキシル-2, 3-ジメチルイミダゾリニウムクロリドからなる群
より選択される四級アンモニウム塩、
を含む硬化性塩素化エラストマー組成物から形成されるものである、物品。

【請求項6】

前記塩素化エラストマーが、ポリクロロブレン、ポリエピクロロヒドリン、エピクロロヒドリン／酸化エチレンコポリマー、クロロスルホン化ポリエチレン、塩素化ポリエチレンおよび塩素化ブチルゴムからなる群より選択される、請求項5に記載の物品。

【請求項7】

前記塩素化エラストマーが塩素化ポリエチレンである、請求項6に記載の硬化性塩素化エラストマー組成物。

【請求項8】

塩素化エラストマー組成物を準備する工程、
2-メルカプト-1, 3, 4-チアジアゾール-5-チオベンゾアート、
無機塩基、および、
1-オクチルピリジニウムクロリド、1-オクチルピリジニウムブロミド、1-ブチル-3-メチルイミダゾリニウムクロリド、1-ヘキシル-3-メチルイミダゾリニウムクロリド、および、1-ヘキシル-2, 3-ジメチルイミダゾリニウムクロリドからなる群
より選択される四級アンモニウム塩、
を含む硬化システム組成物を準備する工程、
前記塩素化エラストマー組成物を前記硬化システム組成物と接触させる工程、および、
それによって前記塩素化エラストマー組成物を硬化させる工程、
を含む、塩素化エラストマー組成物の硬化方法。

【請求項9】

前記塩素化エラストマー組成物および前記硬化システム組成物が混合される、請求項8に記載の塩素化エラストマー組成物の硬化方法。

【請求項10】

前記接触工程が130℃から200℃の温度範囲内で行われる、請求項8に記載の塩素化エラストマー組成物の硬化方法。

【請求項11】

前記塩素化エラストマーが、ポリクロロブレン、ポリエピクロロヒドリン、エピクロロヒドリン／酸化エチレンコポリマー、クロロスルホン化ポリエチレン、塩素化ポリエチレンおよび塩素化ブチルゴムからなる群より選択される、請求項8に記載の塩素化エラストマー組成物の硬化方法。

【請求項12】

前記塩素化エラストマーが塩素化ポリエチレンである、請求項11に記載の塩素化エラストマー組成物の硬化方法。